

鶴ヶ島市内認可保育所・発育支援センターの給食食材放射能濃度測定結果

(平成27年1月14日の給食測定結果 (Bq/kg))

1 食材検査

(公立保育所・発育支援センター)

	食材名	産地名	放射性セシウム 134	放射性セシウム 137
1	生しいたけ	新潟	不検出	4.2
2				
3				

2 給食1食分検査

(公立保育所・発育支援センター)

献立名	放射性セシウム 134	放射性セシウム 137
<ul style="list-style-type: none"> <li>・麻婆豆腐</li> <li>・春雨サラダ</li> <li>・わかめと卵のスープ</li> </ul>	不検出	不検出

※「不検出」とは、放射性セシウムが存在しない又は測定下限値未満であることを示します。

※加工品については、使用原材料が多いため産地を明示していません。

※数値が測定された「生しいたけ」は「麻婆豆腐」として提供しました。1人あたりの使用量0～2歳児が8g、3歳児以上が8gです。

※生しいたけから放射性セシウム放射性セシウム 137 が 4.20 Bq/kg 測定されましたが、この値は市の基準値を下回るものであり、給食での使用が可能な食材です。また、同量の生しいたけを1年間摂取し続けたと仮定した場合の内部被ばく量は、0～2歳児が 0.0001189608mSv、3歳児以上 0.0001189608mSv となり、食品の国際規格を作成しているコーデックス委員会の現在の指標「年間1mSv」と比べても極めて低い数値です。

【15分間測定での測定下限値】

	容器	セシウム 134	セシウム 137
食材検査	500ml マリネリ容器	6.0 Bq/kg	5.0 Bq/kg
牛乳、1食分検査	10マリネリ容器	3.0 Bq/kg	2.5 Bq/kg